『World Heritage GC Returns 2026』

シリーズ開催のお知らせ

World Heritage Foundation

PONOS　Kurovision　KTEL　GC Returns

“GC Returns“実行委員会
一般社団法人 ジーシー・リターンズ

『GC Returns 2026』伝説、再び GC Returns

1972年に誕生し、日本のモータースポーツ史に数々の名勝負を刻んだ「富士グランチャンピオンシリーズ（GC）」。

半世紀の時を経て蘇った『GC Returns 2025』は、多くの皆様のご支援とご協力により、記念すべき復活大会を盛況のうちに終えることができました。サーキットに足を運んでくださったファンの皆様、SNS等で熱い声援をお寄せいただいた皆様、参戦チーム・ドライバーの皆様、そして開催を支えてくださった協賛企業やスタッフの皆様に、心より御礼申し上げます。皆様のお力添えがあってこそ、”グラチャン”の魅力を再びお届けすることができました。

『GC Returns 2025』では、懐かしさと新しさが融合し、当時を知る世代から次代のモータースポーツファンまで、多くの方々に“グラチャン”の熱気を体感していただきました。一方で、運営面での課題も明らかとなり、2026年大会ではそれらを糧に、さらなる進化を目指してまいります。

『GC Returns 2026』の展望

- 3戦シリーズとして、シリーズチャンピオンを目指す熱き戦いを再び展開
- 「走る歓び」「競う情熱」「観る感動」をより多くの方々に届けるため、レギュレーションや運営体制の充実、新しい試みを導入
- 日本を代表するヒストリックレースイベントとして、時代を超えて愛される舞台を目指す

関係者一同、より良い大会づくりを目指し、皆様に安全で感動的なモータースポーツ体験をお届けできるよう邁進してまいります。どうぞ2026年度も変わらぬご支援とご声援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

“GC Returns” 実行委員会　実行委員長　鮒子田 寛

◎GCシリーズ変遷

1972年～1978年　2座席2リッター時代（Gen-1）

Chevron、Lola、March、GRD等の海外マシンに、SIGMA、BELCO、ISUZU、EVA等の国内コンストラクターが開発したマシンが参戦し、エンジンもBMW、FORD、マツダロータリー、三菱、トヨタと、個性的なマシンがグリッドに並んだ。

1979年～1986年　1座席２リッター時代（Gen-2）

比較的自由度が高い車両規則を活用し“2座席スポーツカー”に空力的に効率の高いシングルシーター特製ボディを架装したのが始まり。更なる性能向上を求めて、F2シャシに同様のボディを架装し完全なシングルシーターへと進化。シャシはMarch、エンジンはBMW、YAMAHA、ボディはMCSが主流であった。

1987年～1989年　1座席3リッター時代（Gen-3）

Gen-2同様の空力ボディをハイダウンフォース化しF3000シャシに架装、F3000の高性能シャシに3リッターのパワフルなエンジン（FORD、無限、マツダロータリー）はGCカーを超高性能マシンへと変貌させた。

『GC Returns 2026』開催概要

GC Returns

― 伝統と挑戦が交差する、3戦の新章へ ―

2025年 ― 36年の時を越え、富士スピードウェイに蘇った『グランチャンピオンレース “GC Returns”』。
往年の熱狂を彷彿とさせるその激戦は、多くのファンの心を再び掴みました。そして 2026年“GC Returns”は全3戦のシリーズとして、新たなステージへと進化します。
日本モータースポーツ史に刻まれた遺産を受け継ぎ、次なる栄光を懸けた戦いが、いま幕を開ける。

◆シリーズ概要

名　　称：World Heritage GC Returns 2026
形　　式：全3戦シリーズ（エキジビションレース）
主　　催：GC Returns 実行委員会/一般社団法人 ジーシー・リターンズ
参戦車両：GC Car（歴代グラチャンマシン：Gen1～Gen3）
予　　選：20分～30分
決　　勝：10周～15周
協　　賛：公益財団法人ワールドヘリテージ財団/ポノス株式会社
後　　援：レジェンド レーシングドライバーズ クラブ

◆開催日程

第 1 戦：7月20日　岡山国際サーキット
SPEED FESTIVAL2026 TIPO OVERHEAT MEETING 併催
第 2 戦：10月24日-25日　筑波サーキット
筑波チャレンジクラブマンレース第4戦 併催
第 3 戦：12月13日　富士スピードウェイ
富士チャンピオンレース 第 7 戦 併催

【シリーズチャンピオンについて】
年間最多得点獲得ドライバーに対し「シリーズチャンピオン」の称号ならびにトロフィーを授与いたします。

“あの時代” を知る者も、初めて触れる者も、同じ鼓動を感じる一日へ。

媒体露出

GC Returns

■媒体露出(予定、交渉中)

・TV放映

「J SPORTS」30分特集番組

J SPORTS 各チャンネルで計10回程度放送

・雑誌媒体

モータースポーツ・自動車専門誌等に開催告知記事、レース特集記事

・SNS/FACEBOOK等

開催告知、レース記事等

・レースプログラム

■開催イベント(予定)

・GC Car、クラシックレーシングカー展示

・Legend Driver/Owner Driver サイン会

・Legend Driver Demo Run

■メディア掲載(例)

GC Returns

World Heritage Foundation

PONOS　Kurovision　KTEL Kyt Electronics Laboratory　GC Returns

問い合わせ先

GC Returns 実行委員会

一般社団法人 ジーシー・リターンズ
605-0853
京都市東山区東大路松原上る星野町92
Email:　info@gc-returns.jp
URL　:　https://gc-returns.jp/